隔月刊
ジャズ批評
since 1967
2021/9
223
JAZZ CRITIQUE MAGAZINE

特集 ワンホーン・カルテット

BLUE'S MOODS
BLUE MITCHELL
with Wynton Kelly, Sam Jones, Roy Brooks

Interview

Laura Ainsworth
ローラ・エインズワース

ローラ・エインズワースが歌う 古き良き時代の名曲

聞き手：平井清貴

レトロ・ジャズ・ファンに朗報！　日本で2019年に発売され好評だったローラ・エインズワース自身の過去作品から選りすぐりの曲を集めたコンピレーションLP『Top Shelf』が、このたび初の日本盤CDとしてラッツパック・レコードより９月15日にリリースされることが決定。LP盤を再現した紙ジャケット仕様で、オリジナルのあたたかいサウンドを残しつつマスタリングを改良。マスタリング担当はグラミー賞ノミネート歴のあるジェシカ・トンプソン。オーディオ復元を専門とするエンジニアで、有名作品はエロール・ガーナー『The Complete Concert By The Sea』のリイシュー盤(2015年)。215号(2020年５月)でのインタビューに続いて再びローラに登場していただき、CDアルバム『Top Shelf』について詳しく語ってもらった。

―― 前回のインタビュー（215号）で、あなたは自身の音楽のバックグラウンドを語ったあと、「生まれる年代を間違えたと思った」と話されています。しかしわれわれリスナーからすれば、クラシックなジャズのスタイルをそのままに現代の最新のサウンドで聴くことができるのはとてもラッキーなことで、「生まれる年代を間違えてくれてありがとう」と、まず申し上げたい。子供の頃の環境がそうであったという以外に、あなたがクラシックなスタイルを選んだ理由はありますか？

LA　こちらこそありがとうございます！ 現代に生まれたことには多くのメリットがあると思いますが、音楽とは何の関係もありません。昔の音楽のほうが明らかに良いし、私のパーソナリティーに合っていたからです。服、建築様式、インテリアデザインなど、昔のライフスタイルも良かった。今それらが見直さ

れていて嬉しいです。

私の父、ビル・エインズワースは有名なビッグバンドのミュージシャンで編曲家でしたが、もし父の音楽に触れずに育ったら、自分の好みがどうだったかはわかりませんね。でも、私は自分で好きなものを見つけたと思っています。 私のように昔の音楽を聴いて育たなくても、自分でその良さを見つけた人たちは大勢います。

―― 今回のCD『Top Shelf』は、あなたのこれまでのアルバム３作品の中から曲をセレクトしたアルバムですが、ビッグバンドと共に歌ったゴージャスなものや、ジャズ・クラブでのパフォーマンスのようにミニ・コンボをバックにしたものなど、いわば“ローラ・エインズワースのショーケース”ともいうべきアルバムですが、あなたのレパートリーは、どうやって決まるのですか？

LA　リアルなビッグバンドを入れたのは２枚目の『Necessary Evil』で、今回のビッグバンド曲はそのCDからのものです。13人のホーンが同じ部屋で一度に演奏しました。最近はめったにないけれど昔は皆そうやって録音していましたから、奏者たちは喜んでいましたね。何人かは私の父と一緒に仕事をしたことがあって、その時の話をたくさんしてくれました。

１枚目「Keep It To Yourself」からの「Love For Sale」のように、ビッグバンド曲とは対照的な曲も入れました。 レコーディングを重ねるほど、「Skylark」「Midnight Sun」「Out Of This World」のような繊細でドリーミーな曲がやりたくなります。歌っていると楽しい「An Occasional Man」のようなエキゾチカ・ミュージックにも惹かれますね。ビッグバンド、小編成グループ、ひとつの楽器のみと、それぞれの曲のムードに合わせて録音しました。

―― このCDは2017年のアナログLPの収録曲に加えて６曲追加されています。追加された曲について教えて下さい。

LA　私はアナログLPが大好きなのですが、欠点はスペースが限られていること。なので、もともとLPに入れたかった曲をCDに入れました。

「My Foolish Heart」は長年ライヴで楽しく歌ってきたロマンチックな曲で、初めて録音した曲のひとつです。「Personality」はジョニー・マーサーの曲の中でも最も素晴らしい歌詞で、ほとんどの人が聴いたことのないヴァースも歌っています。私はいつもできるだけ知られていないヴァースを入れるようにしていますけれど！「Dream A Little Dream Of Me」はずっと好きな甘い曲で、クリス・マクガイアの美しいクラリネットのソロは私の父の演奏を思い出させます。私の父は彼のアイドルで、師匠でもあるのですよ。「Long Ago And Far Away」 と「You Stepped Out Of A Dream」のメドレーは、歌詞の内容もメロディー的にもひとつの曲のようですね。「Long Ago And Far Away」は1944年の映画『カバーガール』の曲。リタ・ヘイワースは、私と同じような赤毛で、大好きなハリウッドの女神です。劇中の声は彼女のものではなくマーサ・ミアーズの吹き替えでしたけれど。ジェローム・カーンが作曲、アイラ・ガーシュウィンが作詞しました。「You Stepped Out Of A Dream」は、私が子供の頃、父がブラジル '66のアルバム『Crystal Illusions』のバージョンを演奏していたので好きになりました。

―― その中にはこれまで未発表の「You'd Be Surprised」という曲がありますが、現在ではあまり歌う人が少ないこうした曲はどうやって見つけてくるのですか？

LA　アーヴィング・バーリンが書いた曲で、アルバム収録用の曲ではなかったけれど、やりたい曲だったので録りました。私のプロデューサーで素晴らしいキーボード奏者のブライアン・パイパーがピアノを弾き、ベースを弾いたのはジョン・アダムズ。おもしろおかしい曲ですね、私はコメディーをやるのは嫌ではないです。最初の録音は1919年のエディ・カンターのもので、1988年にマデリーン・カーンがバーリンの100歳の誕生日祝いとして歌いました。バーリンへだけでなく、私に大きなインスピレーションを与えてくれたマデリーン・カーンへのオマージュでもあります。 彼女のヒステリックな面白さだけでなく、美しい歌声も大好きです。

こうした素晴らしい曲を見つけられるのは、父と彼の友人たちからだけでなく、レコードコレクター、音楽史家である私の夫や友人たちに囲まれているからで、それはラッキーですよね。友人が、1920年代から30年代の78rpmレコードをかける『Radio Dismuke』というオンライン・ラジオ局を運営していて、そこからも貴重なお宝をいくつか見つけました。

―― 新作アルバムの予定について教えてください。

LA　新作『You Asked For It』を録音することに決めたのは、多くの人がお馴染みのスタンダード曲を聴きたいと言っているからです。私は知られていない曲を見つけて紹介することに“特化”していますが、スタンダード曲も大好きですしね。「Someone To Watch Over Me」「As Time Goes By」「Our Love Is Here To Stay」などは、誰もがすぐわかる美しいスタンダードです。私独自のタッチを加えて、スタンダードファンでさえもおそらく聴いたことのないヴァースを入れたりと、私独自のタッチを加えるようにしています。

―― 日本のファンに向けてメッセージを。

LA　もう感謝しきれません！ 歌い始めたときや、アルバムの制作中には、遠く離れた人たちに聴いてもらえるとは夢にも思いませんでした。でも、地図の上では遠く離れていようが、音楽は距離を埋めてくれます。皆さんが私の音楽を楽しんでくれて感激ですし、光栄です。世界が完全にもとに戻ったら、美しい日本に訪れられるよう願っています。私の音楽を聴いてくれて本当にありがとうございます。この素晴らしい音楽が色あせずにいられるのも、皆さんのおかげです。

DISC INFORMATION

『トップ・シェルフ』ローラ・エインズワース

紙ジャケット仕様CD *SCP-6001-1J*　*MP3/ストリーミング版 SCP-6001-1E*

９月15日ラッツパック・レコードより発売

①That's How I Got My Start ②Necessary Evil ③That's The Kind Of Guy I Dream Of ④The Gentleman Is A Dope ⑤You'd Be Surprised(未発表曲) ⑥Love For Sale ⑦Skylark ⑧Mcdley: Long Ago And Far Away/You Stepped Out Of A Dream ⑨An Occasional Man ⑩Out Of This World ⑪Hooray For Love ⑫Personality ⑬Fantastic Planet Of Love ⑭Dream A Little Dream Of Me ⑮Wasting My Love On You＊ ⑯Just Give Me A Man ＊＊Bonus Tracks

『トップ・シェルフ』重量盤LP　ER-1004（10曲入り）好評発売中

ローラのアルバム3作品、『Keep It To Yourself』『Necessary Evil』『New Vintage』もMP3/ストリーミング版が９月15日より配信開始！